

ちとせ観光通信

～千歳一遇～ せんざいいちぐう

発行 一般社団法人 千歳観光連盟

066-0019 北海道千歳市流通3丁目4-1

電話 0123(24)8818

FAX 0123(24)8819

2024年9月10日発行 【再刊第26号】

今号の話題

- 支笏湖チップ釣果過去最多
初の20万匹超
- 道の駅新規開業から1年
感謝祭は大盛況
- リバーシティープロジェクト
民間継承して開催



釣り上げられた支笏湖チップ

支笏湖チップの今期解禁期間(6月8月)の釣果が、過去最多の20万4438匹となったことが支笏湖漁業協同組合と千歳市のまとめでわかりました。昨年を約8万匹上回り、20万匹を初めて超えました。



支笏湖夏まつりでも提供された塩焼きは大人気でした。

支笏湖チップ釣果過去最多

初の20万匹超、3、4年魚中心

札幌 オータムフェストでも塩焼き提供

これまでの最多は2019年の19万874匹。今年の釣獲は3、4年魚が中心で、型の大きな個体が多いのが特徴。刺身や塩焼きに

もちようど良いサイズの魚が多く釣れました。地元飲食店や旅館のほか、千歳市内の飲食店やSPAーをはじめ札幌の寿司屋や料亭でも提供され、「支笏湖産」の名前を広めました。

支笏湖チップは支笏湖漁協が中心となり、ふ化増殖事業に取り組んでいます。国内有数の水質の支笏湖で育ったため川魚特有の臭みがなく、刺身にすると美しい赤身が映え、塩焼きも豊かな味わいです。

支笏湖温泉の飲食店ではフライや天ぷらにして供する店もあります。6月に開催した支笏湖夏まつりでもブースを設けて特価で販売すると、行列のできる人気ぶり。7月のスカイビア&YOSAKOI祭の会場にも出店して、地場の味わいをアピールしました。観光連盟は多くの人に千歳に足を運んで味わってもらうため、引き続き市内外でのPR活動に取り組んでいきます。

9月21～23日、宮崎県で開催する「うまいっしょフェア」では「支笏湖チップフライ」を道外で初めて販売します。また、同漁協では13～17日、札幌市大通公園で開催の「さっぽろオータムフェスト」で、塩焼きを1尾1000円で提供します。ぜひお立ち寄りいただき、ご賞味ください。

道の駅リニューアル1周年 感謝祭開催、特価で海鮮丼など提供 道の駅サーモンパーク千歳



特価販売やイベント等で、道の駅内は観光客や市民で大いににぎわいました。

道の駅サーモンパーク千歳は、リニューアルグランドオープン1周年感謝祭を8月24日～9月1日に開催しました。期間中は111円の「海鮮丼」販売や、「周年感謝祭丼」や5種類のサケ・サーモンを食べ比べできる「鮭

の遡上丼 鮭祭り」を実施。期間限定メニューに加え、YOSA KOIソーラン演舞や夏祭りイベントなどが1周年を盛り上げました。

旬の千歳産トウモロコシを使用した「とうきびパン」などのグルメがお目見え。地元農家による朝採れのトウモロコシやメロンのトラック市、道産ピーマン、ニンジン、ジャガイモ、玉ネギを1つ11円で販売する農産物市といったイベントが来場者の目を引き付けました。鮭とば・鮭ジャッキーの詰め放題に長い列。子供たちによるYOSA KOIソーランパフォーマンス、千歳水族館とコラボした夏まつりイベントもあり、屋台や縁日の風情が感じられました。期間中は税込3000円以上（レシート合算可）を買い物した各日先着30人に1周年を記念したオリジナルデザインの「道の駅切符」をプレゼントしました。



千歳神社の秋季例大祭が9月1～3日に執り行われました。奉納行事のほか1日の宵宮祭、2日の本祭では、さまざまな奉納行事が行われたほか、参道などに200以上の露店が並び、訪れた市民らでにぎわいました。

千歳神社秋季例大祭 秋の恵みに感謝、参道に賑わい



イベントや物販を楽しみにする人で、開店前から長い列ができました。

期間中、同神社の参道や隣接する青葉公園には、焼き鳥やたこ焼き、金魚すくい、お化け屋敷などの露店が並び、市民でにぎわいました。境内では少林寺拳法の演武や千歳弓道連盟の奉納射会、沢井箏曲院岡野社中による琴演奏のほか、千歳鷹狐神楽会による神楽が披露。千歳華道連盟による生け花も展示されるなど、奉納行事が多数行なわれました。

3日の神輿渡御は昼過ぎに、神輿が神社を出発。グリーンベルトおまつり広場、ニューサンロードなど幸町、清水町などの中心市街地などを練り歩きました。千歳巴会を中心に道内各地から集まった担ぎ手たちが、勇壮なかけ声を挙げながら神輿を揺らすなどして、市街地を盛り上げ、夜に宮入りすると、神輿の上から縁起物の稲が振りまかれ、訪れた市民がこぞって手を伸ばしていました。

リバーシティープロジェクト開催

千歳川活かしてにぎわい創出

民間有志が継承、アクティビティや

ライブが会場沸かす

チトセリバーシティープロジェクトが8月24、25日、千歳市内の千歳川河畔公園および河川敷で開かれました。エコラフティングで

に引き出すことを目的とする「かわたびほっかいどう」で大賞を受賞した事業です。

千歳川の涼を満喫したほか、ステージイベントや世界各国のグルメが訪れた人を楽しませました。

同プロジェクトは2014年から、一般社団法人千歳青年会議所

が主催となり、千歳市の地域資源である清流『千歳川』を舞台に、

水辺の空間を活用した中心市街地のにぎわい創出事業として展開し、市民に親しまれてきました。今年度からは民間有志でつくる実行委員会が受け継ぐ形で開催しました。観光連盟後援。

昨年度は北海道の魅力を最大限



ダンスやライブが会場を盛り上げました

料理が楽しめる飲食ブース）では各国の料理を味わうことができ、来場者がグルメを満喫していました。

ステージイベントではHIPPOYさん、金子聡司さん、サザンオールスターズのサポートメンバーも務めた中間真永さん、アニソンのロックシンガーのNana☆さん、6人組アイドルグループの「ワンダーホワイト」らが出演。千歳市で活動するダンススタジオFORTによるキッズダンスパフォーマンスも観衆を湧かせました。

JCI千歳創立60周年

青葉公園で記念行事

防災、国際交流などテーマに

千歳青年会議所は、「CHITOSE WORLD PEACE FESTIVAL」を8月11日に開催しました。創立60周年を迎えた市民の憩いの場である青葉公園を会場に、防災やアウト



自炊体験をはじめ多彩な企画が参加者を楽しませました

ドア、グルメ、国際交流を柱にした多彩な催しが訪れた人を楽しませました。観光連盟後援。

アドベンチャーフィールドでは、千歳市消防本部様やボイスカウト千歳第一団の協力で体験活動を展開。市内小学生が芝生の広場を思う存分駆けめぐるのレクリエーションを楽しみ、グループごとにカレーを作って味わい、キャンプファイヤーを囲みマイムマイムを踊りました。

陸上競技場では「防災チャレンジ！大運動会」と題して、各所に設けた、災害時を想定した障害を

チームでつないでクリアする運動会を開催。出場者は担架、カップづくりのほか、車いすで瓦礫の上を通る大変さを体感しながら、ゴールを目指していました。

グローバルフィールドでは北海道在住のフィリピンとインドの方々の文化を体験できるブースを設置。粉末や粒状の材料で絵を描くインドのランゴリづくりの体験や、フィリピン発祥のバンブーダンスショーに来場者が飛び入り参加する場面も見られました。

公園内には多数のキッチンカーも出店。観光連盟提供の観光PRムービーも上映され、千歳の魅力を情報発信しました。

フィナーレでは、会場にプロジェクションマッピングが投影されました。植物と生物の共存や、千歳市ならではの映像、人びとが手を取り合い、尊重し合う平和な世界や、未来への願いを込めた映像が上映されました。

イベント情報

▼第45回インディアン水車まつり（2024年9月21、22日、道の駅サーモンパーク千歳広場）
同まつり実行委の主催。千歳市街地の秋のイベントとして、観光PRと市内経済活性化を目的に開催します。恒例のサケ鍋の提供や釣り堀での釣り体験ができるほか、ジンギスカンコーナーの設置も予定しています。

▼千歳基地「航空祭」～千歳のまちの航空祭（2024年9月15日、航空自衛隊千歳基地）
航空自衛隊の航空機をはじめ装備品を間近で見学できる貴重な機会。戦闘機やアクロバット飛行専門チーム「ブルーインパルス」の展示飛行も開催予定。音楽隊の演奏やキッズトレインの運行もあります。

▼北海道森林スポーツフェス

タ2024イン支笏湖（2024年9月29日）支笏湖ビクターセンター展望デッキ前広場を中心に開催する自然環境への理解を深めるスポーツイベント。森林マラソンやノルディックウォーキングで爽やかな汗を流します。環境プログラムやロープで木に登るツリーイング、ネイチャークラフト体験などができる予定です。

市民夏まつり終幕

千歳市民夏まつりは8月23日をもって閉幕しました。千歳市民の納涼盆踊り大会でフィナーレを飾る予定でしたが、風雨の強まりが予想され、市民の安全を警戒し、同まつり実行委員会では中止を決断しました。約1カ月にわたる千歳の夏の風物のラストは残念ではありましたが、期間中は多くの市民のみなさまにお楽しみ頂けたことから、来年もより良い祭の企画に携わってまいります。

編集後記

今年の夏は、千歳産のレタスとトマトを毎日食べる夏でした。体調管理で野菜を多く食べるよう心掛けたのもありますが、理由はむしろ、おいしいから。

食べやすい大きさに切ったトマト、ちぎったレタスの上にさいころのように切った絹ごし豆腐を載せて、ゴマドレッシングで頂くのが好みです。農家の努力で農産物にも恵まれた千歳です。本州に住む親せきにトウモロコシを送ると、小躍りして喜ぶような文面で、お礼のラインが送られてきました。

9月に入ると暑さが一転、昼夜は肌寒く感じられるようになりました。秋は秋で、収穫の季節。秋のイベントにも足をお運びください。